

<h2 style="margin: 0;">富士山の自然林再生活動</h2>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士山自然の森づくり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348</td> </tr> </table>	富士山自然の森づくり	富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348
富士山自然の森づくり			
富士宮市星山85-186 TEL・FAX/0544-24-9348			



私たちは平成8年9月の台風による風倒木跡へ広葉樹植栽による再生活動に毎月取り組んでいます。平成11年度の活動は次の通りです。(2月まで)

1.定例活動(毎月1回実施)

- 4月・5月 広葉樹の植栽と食害調査
- 6月 伐採・地揃え植栽
- 7月・9月 植栽後の下刈りと苗場草取
- 8月 大沢・時塚の自然林観察会
- 10月・11月 種子稚樹採取と苗場植え付けと竹採り
- 12月・1月・2月 森づくり教室(一般公開講座)

2.関連活動

富士山の森再生活動推進協議会出席 森林管理局主催) 県主催富士山3776大作戦 森づくり行事への指導参加 市主催広葉樹植栽地地拵 植栽行事への指導参加 第50回全国植樹祭の県表彰、森づくり宣言 国土緑化推進機構「緑の募金の森」造成事業に参画 ふじさんネットワークへの参加 日米草の根交流サミット企画と講話と植栽指導 富士宮市、焼津市小学校生徒への講話現地指導 富士宮市家庭学級、富士市公民館事業への指導 富士山動物動向調査、自生稚樹の生残率調査の実施 シカ動向調査 センサーカメラ、足跡、糞、食痕など) 粟倉苗場への整備管理(種子稚樹の採取と育苗) 小規模倒木跡への伐採と植栽 森づくり共同活動や自然関連団体への講話派遣

私たちが森を造るのではなく、自然に再生する森に学びながら安定した森が早く再生できるよう少しお手伝いをするという気持ちで取り組んでいます。富士山の森再生のため自生種を扱い、富士山の好きな仲間の善意により楽しい汗を流しながら長く続けていきたいと願っています。誰でもいつでも自由に参加できます。時間があきましたらぜひ富士山西白塚に来てください。

<h2 style="margin: 0;">復活した須山口登山歩道を守るために</h2>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士山須山口登山歩道保存会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138</td> </tr> </table>	富士山須山口登山歩道保存会	裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138
富士山須山口登山歩道保存会			
裾野市須山701-12 (事務局・杉山) TEL/0559-98-1138			



平成9年、待望の「須山口登山歩道」が復活しました。この登山道が開かれた年代は定かではありませんが、大宮(富士宮)、吉田登山道と共に鎌倉時代からあったと言われていま。その後は宝永の噴火により一時途絶え、70余年後に復活。明治前半までは登山者も多かった。明治末、大野原が旧陸軍の演習場となったため有名無実という歴史を経、ようやく85年ぶりに、渡邊徳逸氏の指導によって復活させることができました。車社会の現代ですが、昔のように各登

山道の下宮である浅間神社から歩いていこう。歩いていけるという意を込めて、登山「歩道」としました。

会員は60～70歳前後の人たちが中心で、この復活した「富士山須山口登山歩道」が多くの人に愛され、生き続けることを願い活動を続けています。

活動内容
須山口登山歩道、下山歩道の整備(草刈りや倒木の片付)
5月～10月
道標の作成と設置
行事
開山式記念登山(7月1日)
本年のコースは、須山浅間神社から水ヶ塚(バス) 水ヶ塚-須山御胎内-幕岩-御殿場口太郎坊(徒歩) 太郎坊-須山浅間神社(バス)
裾野市を中心に約60名が参加の予定
秋の紅葉散策と登山歩道の清掃
日時、参加人員等未定

<h2 style="margin: 0;">富士山の自然を守り育てる</h2>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士急行株式会社</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">http://www.fujikyuu.co.jp/</td> </tr> </table>	富士急行株式会社	山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113	http://www.fujikyuu.co.jp/
富士急行株式会社				
山梨県富士吉田市新西原5-2-1 TEL/0555-22-7113				
http://www.fujikyuu.co.jp/				



昨年4月より導入したアイドリングストップバス

当社は創業以来「富士山の自然を守り育てる」を経営理念の一つにかかげ、様々な環境保全活動に力を入れて取り組んできましたが、そのいくつかの事例をご紹介します。CNGバス、アイドリングストップバスの導入

平成7年、当社は国立公園地域では全国で初めてCNGバス「エバーグリーンシャトル」を導入しました。窒素酸化物や黒煙のまったく出ないクリーンなこのバスは富士登山バスを中心に運行しており、現在富士急グループで15両保有しています。

一方、従来のバス車両の運行においても信号待ちや停車時にはアイドリングストップを励行、車両の更新にあたってはアイドリングストップ装置の付いた車両を順次導入しています。

「富士急記念の森林(もり)」の造成

平成3年、会社創立65周年事業の一環として、富士宮市の富士山国有林に「富士急記念の森林(もり)」を造成しました。これは富士山の自然を守り育ててきた当社が、林野庁の推進している「国民参加の森づくり」に参加したもので、富士山の自然植生に適した樹木を植栽し、60年にわたって育て上げていくものです。毎年、新入社員の手で下草刈りや植え付け整備が行われています。

有料道路での低公害車両通行料割引制度の実施
当社は裾野市で総延長8.5kmの有料道路「南富士エバー

<h2 style="margin: 0;">富士自然観察の会のいま</h2>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">富士自然観察の会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441</td> </tr> </table>	富士自然観察の会	富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441
富士自然観察の会			
富士市伝法2794-3 (事務局) TEL/0545-52-4441			



富士山の南麓、愛鷹山塊以西、富士川以東富士市とその隣接地域をフィールドにしております。会の発足当初から会員を対象にした自然観察会が活動の中心です。身のまわりの自然に関心をもってもらいたい。そして、愛着をもってもらいたい。自分にとってかけがえのないものであることに気付いてもらいたい。素朴な願いから会を立ち上げました。

現在、130名の会員を数えますが、積極的に参加する方は時間にゆとりのあるメンバーで、未来を託す若者の姿がないことが長い間の課題でした。経験からヒトの自然への興味、係わり方は9才頃までに土台が固まってしまうようです。「親子の観察会」を計画する所以です。しかし、バブル期までの経済、開発中心の時代からゆとり中心のソフト重視の世の中に傾きかけていること。小中学校の週休2日制への動きも追い風になりました。今、会の活動の場も会員対象を柱に「こどもエコクラブ交流会」「ふじのくにゆうゆうクラブ」市内各公民館行事など、それぞれの地域に密着した場へ輪を広げています。会員対象12回など月2回の年間計画をこなしますが、各方面の要請を受け自然との対話の手助けをしております。この合間にフィールド調査で腕に磨きをかけます。

親子観察会では「遊びながら自然に親しむ」方法を取っております。これまでに蓄積した「あそび」を整理して冊子にまとめる作業が進行中です。埋もれたあそびの発掘ばかりではなく、会員が工夫したユニークな自然に親しむ方法を絵入りで紹介します。

我が町は、富士山麓開発に網をかけ乱開発に歯止めをかけているにもかかわらず、裾野に人工物が緑を蝕んでいることも事実です。私たちの活動の成果が試されています。